

二輪自動車 - 排出ガス及び燃料消費率試験方法に関する JIS 制定

- 地球環境に優しい二輪自動車の普及に向けて -

平成 29 年 8 月 21 日

二輪自動車の排出ガス規制強化に伴い、排出ガス及び燃料消費率の試験方法について、関連する国際規格に基づいて国内強制法規の排出ガス基準(以下、強制基準)に整合する 3 件の JIS を制定しました。これにより、環境に配慮した二輪自動車の普及が進み、地球環境問題への貢献が期待されます。

)道路運送車両法に基づく、道路運送車両の保安基準の細則を定める告示(別添 44)

1. 規格制定の目的・背景

二輪自動車の排出ガス中に含まれる窒素酸化物(NO_x)、炭化水素(HC)、一酸化炭素(CO)について、従来比で最大約 6 割低減する規制強化が行なわれたことに伴い、排出ガス及び燃料消費率の試験方法について関連する国際規格(ISO6460:Motorcycles Measurement method for gaseous exhaust emissions and fuel consumption)に基づいて強制基準に整合する 3 件の JIS を制定しました。

これまで日本には、二輪自動車に対応する燃費要件の規制がなく、二輪自動車の燃費消費率を測定するための公式な試験方法がなかったことから、今回の JIS 制定により、第三者機関(自動車技術総合機構、日本自動車研究所等)において二輪自動車の燃費消費率試験を行う際は、国際的に調和した試験が可能となったことから、当該 JIS は重要な意味を持ちます。

2. 規格制定の主なポイント

今回の JIS D1047(二輪自動車 - 排出ガス及び燃料消費率試験方法)では、第 1 部で「一般試験要求事項」を、第 2 部で、対応する国際規格(ISO6460-2)の中で、近い将来日本で使用されなくなる事項を削除し、第 1 部と組み合わせることで台上走行による排出ガス試験と燃料消費率試験の実施が可能となる「テストサイクル及び試験条件」を、第 3 部で、実走行による一定速度燃料消費率試験の実施が可能になるとともに、第 1 部と組み合わせることで台上走行による一定速度燃料消費率試験の実施も可能となる「一定速度燃料消費率試験方法」を制定しました。

(主な規定項目)

- ・排出ガスの試料採取及び分析方法(図 1)
- ・車両分類方法(エンジン排気量と最高車速により 5 種類に分類)
- ・走行条件(図 2)



図 1. 二輪自動車の排出ガス試験

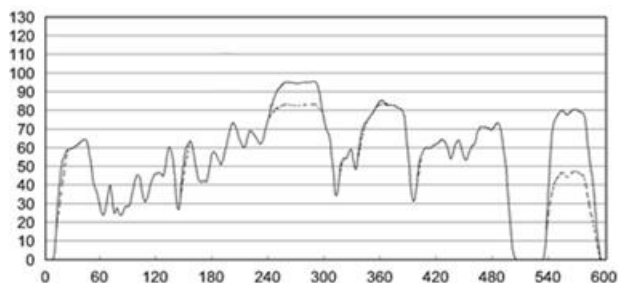


図 2. 走行条件例 (横軸:時間 秒 縦軸:車速 km/h)

日本工業標準調査会(JISC)のHP(<http://www.jisc.go.jp/>)から、

「D1047(二輪自動車-排出ガス及び燃料消費率試験方法)」で JIS 検索すると本文を閲覧できます。

[担当] 経済産業省 産業技術環境局 国際標準課 (03-3501-9283、内線 3426 ~ 3427)

(課長) 藤代 尚武 (担当) 河村 保